



つながるカレッジねりま みどり分野

コミュニティ・ガーデナーコース 講座だより

第5回「植物の活用と楽しみ方」

実習・
在宅学習

日 程：令和3年2月18日（木）

実習花壇：生涯学習センター「あいあいガーデン」

2月の在宅学習で学んだことを確認しながら、花壇のお手入れを実践しました。

花壇のお手入れ

あいあいガーデンの植物は、植え付けと水やりがしっかりしていたため、寒い中でも元気でした。2か月ぶりの実習ということもあり、みんなで最初にガーデンを観察して植物の成長を確認しました。

お手入れは、地面が十分に湿っていたため、水やりは行わず、花ガラ摘みを中心に行いました。



お手入れの様子



1か月後のお手入れを見越して、終わりがけの花も摘みました

講師に聞いてみよう！

◆ 普段のお手入れ

Q1. 花ガラ摘みは手？ハサミ？

基本的には、ハサミを使いますが、場合によって使い分けます。茎がやわらかいパンジー等は、手がお勧めです。シクラメンはハサミを使うと雑菌が入り、病気になるので、手で行います。

Q3. 球根にも水やりは必要？

必要です。球根は、水を与えることで根を出して成長します。花苗と同じように水やりをしましょう。

◆ 冬のお手入れ

Q5. この季節、枯れている葉はとる？

防寒の役割を果たす事もあります。見た目と防寒のバランスを見ながら、判断します。

Q7. この時期に肥料は与える？

元肥がしっかり入っている場合は必要ありません。暖かくなり次々と花が咲くようになったら、様子を見て肥料を与えます。

Q2. 切り戻しの時期はいつ？

植物の状況や季節によって判断します。大きくなり過ぎている、だらしなく伸びている、暑さで蒸れている、冬枯れの前などがタイミングです。

Q4. どこまで雑草を選んで抜くの？

植えた植物の成長を「阻害している」また「阻害しそう」な雑草を優先的に抜きます。

Q6. 植物に雪が積もったらどうする？

重みによって植物が潰れたり、凍って枯れたりすることがあるので、できるだけ早く取り除きます。

◆ 植物に関する知識

Q8. 植物名を覚えるコツは？

①漢字など自分で覚えやすい方法で覚える。②写真を撮る。③1日1個覚える。また人に教えると頭に入りやすいですよ！

「コミュニティ・ガーデン」とは？

コミュニティ・ガーデンは「地域の庭」。まちかどの花壇や公園、マンションの中庭など、場所も大きさも形もいろいろです。仲間と一緒に愛着をもって手入れし、作る人や見て楽しむ人の笑顔があれば、コミュニティガーデンです。

今回の キーワード

「寒さと暑さは、腐葉土のマルチングで乗り切ろう！」

（NPO GreenWorks 三浦）

土作りに欠かせない腐葉土は、土に混ぜ込むだけでなく、マルチング材としても大いに活躍します。株元に3～5cmの厚さで腐葉土をのせる（敷く）だけです。マルチングをすることで、寒さ、暑さ除けになります。その他にも、霜除け、真夏の照り返し予防、乾燥防止、土壌改良、雑草除け、病気の予防等々たくさんの良いことがあります。微生物たっぷりの腐葉土をたくさん活用しましょう。

本の紹介

植物名に興味のある方への参考書



・ヴィジュアル版植物ラテン語辞典（原書房）

豊富なコラムと、100以上におよぶ美しい図版が掲載されています。

・植物分類表（アボック社）

DNAに基づいた新分類体系の本です。約470科、2,600属、10,000種が収載されています。

植物の活用 ～リボンサシェづくり～

切り戻しをした花や枝などを活用してポプリや切り花をつくと、ガーデンに新たな楽しみが生まれます。リボンを使ったサシェは、針も糸も使用せず、誰でも簡単に作ることができます。



ラベンダー入りリボンサシェ